

「航空機事故と災害派遣～ JAL123便墜落事故から40年 現場からの証言」

4月16日シンポジウム開催のお知らせ



提供元：「第1空挺団広報室提供」・「中警団新聞 昭和60年（1985年）9月15日」より
写真はイメージです

日本の未来を担う子どもたちへ繋げたい真実

1985年8月12日の日本航空123便 御巣鷹山墜落事故から40年。

当時の記憶が薄れていくなか、事故の発生やその後の対応について自衛隊に問題があったかのような誤った情報（所謂「陰謀説」など）が拡散されております。

事故当時に災害派遣に従事した自衛官と関係者は、このままでは日本の未来を担う子供たちが自衛隊への信頼感を持てなくなるのではないかと危惧しています。

そこでこの度、真実を後世に伝えるためのシンポジウムを開催することとなりました。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

1

基調講演

「JAL123便墜落事故
災害派遣 体験談」
岡部 俊哉
（第35代陸上幕僚長
JAL123便事故派遣隊員）

2

現場関係者の証言

当時の現場で実際に
救助などの任務に
あたった方々の証言

3

未来へ

事故とその教訓を後世に
正しく伝えるために
私たちができること

日時・場所

- 2025年4月16日(水)
受付15時半～
開会16時
閉会18時予定

- 参議院議員会館
1F 講堂
東京都千代田区永田町
2-1-1

- 最寄駅：
有楽町線・半蔵門線・
南北線「永田町駅」1
番出口
丸ノ内線・千代田線
「国会議事堂前駅」1
番出口徒歩5分

- 参加費無料・事前申
し込み不要
当日直接会場にお越し
ください。参議院議員
会館玄関口ビーで通行
証をお渡しします。

主催

「JAL123便 事故究
明の会」

会長 岡部俊哉（第35代
陸上幕僚長、JAL123便
事故派遣隊員）
1985年8月12日の日航
123便事故の真実の記録
と資料を纏め、事故とそ
の教訓を後世に正しく伝
えることを目的とする有
志の会です。

お問い合わせ

山本優美子
（事務局担当）まで

Email:
japannetwork1@gmail.com
TEL: 080-2090-1790